

当直表の上手な作りかた

秋田県医師会 次世代医師サポート委員会

渡邊 理子

自己紹介

- 渡邊 理子（わたなべ あやこ）
- 医師21年目
- 秋田赤十字病院 形成外科部長
- 家族構成 夫・子供1人（中1）
- 昭和大学形成外科医局所属
- 秋田赤十字病院勤務歴 通算18年
- 半年前から救急当直表の作成担当



秋田赤十字病院の 救急当直事情

3次救急対応病院

- 1～3次まですべて受け入れる

令和5年度 救急搬送 3443件

- 1日あたり9.4件

救急科医師 4～5名

救急当直業務 医師数 66名（男性52名、女性14名）

- レギュラー 41名（男性33名、女性8名）：制限なし
- 50歳以上 19名（男性のみ）：回数上限あり、深夜勤務なし
- 育休あけ女医 6名 ：希望に応じて

働き方改革前後の比較

平日は各診療科の業務

以前



→翌日は17時まで通常勤務

現在



→翌日は昼までの勤務

事情は様々

	子供	救急日直	救急準夜	救急深夜	ICU日当直	
レギュラー	女医A * 中学生2	×	○	○	△	
	女医B * 中学生2	○	○	○	○	
	女医C 中学生1	○	○	○	○	
育休あけ女医	女医D * 小学生1・中学生1	○	×	○	○	月2回
	女医E * 幼児1・小学生1	○	○	×	○	月2回
	女医F 幼児1	○	×	×	○	月2回
	女医G 幼児2	×	×	×	○	月1回
	女医H * 幼児2・小学生1	○	×	×	○	月1~2回
	女医I * 幼児1	○	×	×	○	月2回

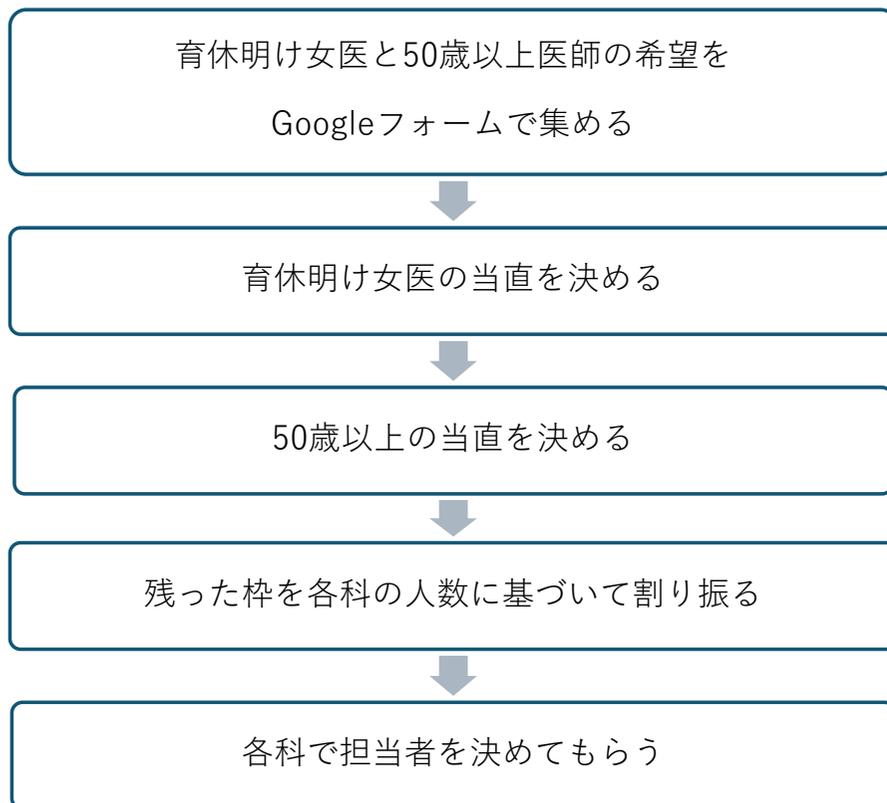
* 夫が医師



子育て女医の声

- 産休・育休でしばらく救急当直業務から離れていると、フルで再開するのは不安が強い
- ICU日直から再開した→ICU日直ができるなら救急日直も出来るだろうと言われた
- 月に1回の当直から再開した→1回できるならもう少し回数増やせるだろうと言われた
- 救急当直業務の免除・軽減で後ろめたさは感じている

実際の作成方法手順



- 深夜宿直の翌日午後に帰宅できるような曜日を選ぶ
- 1日に同じ科の医師が被らないようにする
- 救急日直・準夜宿直で6年目以下の医師をペアにしない



「最適解は見つかりません」

現在の当直表作成体制をとってみて

- 良い点

- 全体的に不平等感が減った？ような気がする（クレームが少ない）
- いろいろな働き方をする女医がいるためか、少しでも当直業務に参加しようとする女医が増えた

- 悪い点

- 当直表の作成が複雑で正直かなり面倒くさい

今後の展望

- 子育て女医のいろいろな働き方が当たり前になる
- 当直表を簡単に作成するためのシステム作り

